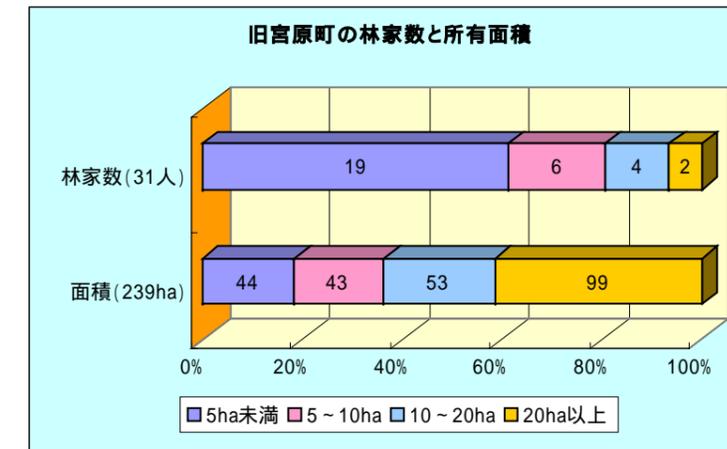
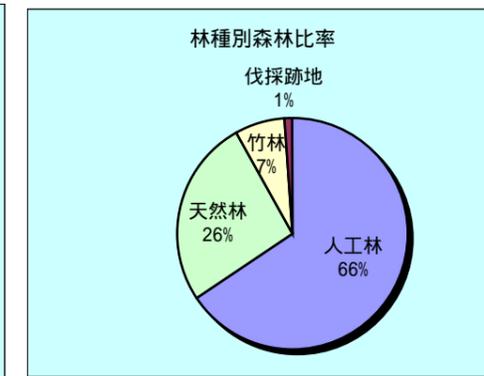
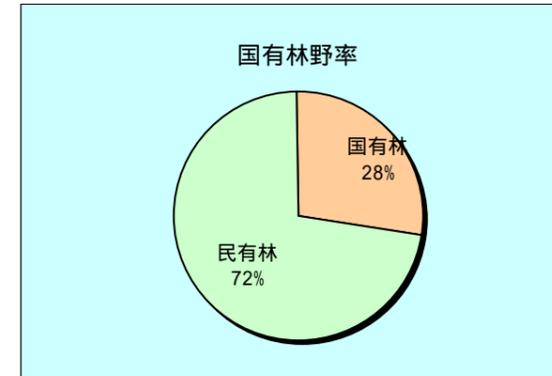


里地里山保全の背景 4 地域社会特性 林業

- ・ 熊本県氷川町宮原地区の林野面積は 280ha
- ・ 過半が私有地であり、国有林は 78ha
- ・ 森林面積の 3分の2 は人工林であり、天然林は 26%
- ・ 近年、竹林が管理されずに繁殖し、天然林をおびやかす
- ・ 林業が経済と結びつかない現状下、竹林伐採、草刈りなどの管理作業が課題



手入れが必要な竹林

総林家数 (保有山林面積1ha以上の林家・旧宮原町) 単位: 戸・ha

	林家計		農家林家		非農家林家	
	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積
宮原町	31	239	13	43	18	195
八代地域	1,742	12,251	926	5,972	816	6,279
熊本県	24,049	128,376	16,169	78,506	7,880	49,870

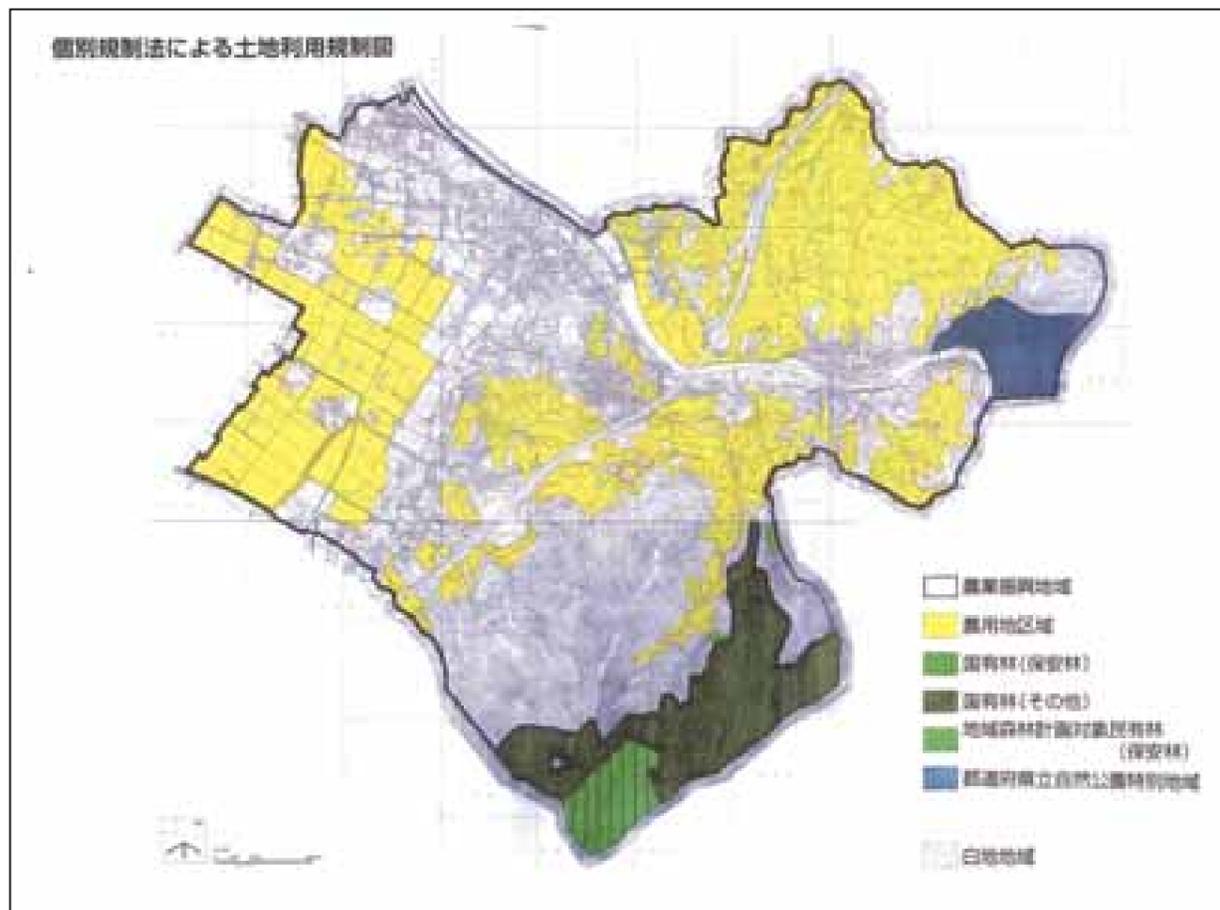


ボランティア作業風景

保有山林の規模別林家数と面積 (保有山林面積1ha以上の林家・旧宮原町) 単位: 戸・ha

	計		1~3ha		3~5		5~10		10~20	
	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積
宮原町	31	239	17	36	2	8	6	43	4	53
八代地域	1,742	12,251	895	1,520	262	893	241	1,547	174	2,200
熊本県	24,049	128,376	15,221	24,911	3,541	12,665	2,762	17,939	1,444	18,532

	20~30		30~50		50~100		100~500		500ha以上	
	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積	林家数	面積
宮原町	-	-	1	48	1	51	-	-	-	-
八代地域	95	2,180	56	2,046	12	812	7	1,053	-	-
熊本県	502	11,431	345	12,292	148	9,265	82	13,521	4	7,820



林野面積所有形態

単位: ha

合計	国有林	林野庁	その他官庁	民有林	緑資源公団	公有林	私有林
280	78	78	-	202	-	11	191

林種別森林面積

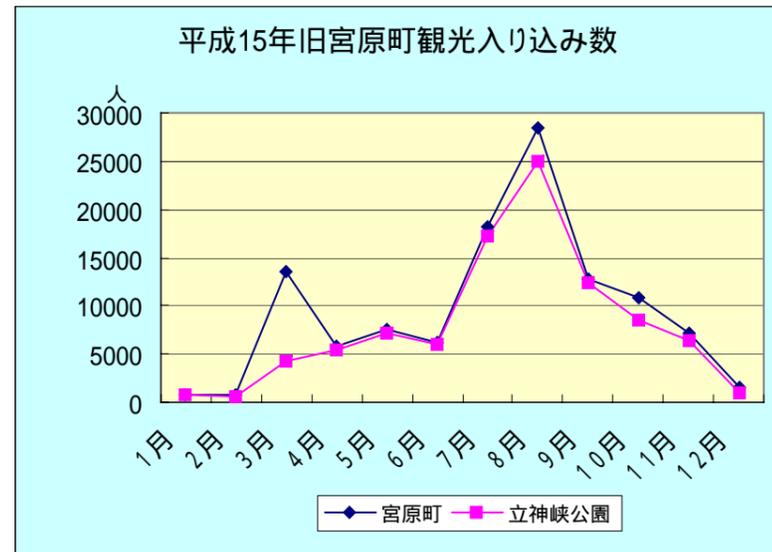
単位: ha

森林面積計	樹林地	人工林	天然林	竹林	伐採跡地	未立木地
276	254	181	73	19	3	-

いずれも 2000 年世界農林業センサスより旧宮原町 (森林面積と林野面積には統計上の差がある)

里地里山保全の背景 5 地域社会特性 観光

- 氷川町宮原地区の観光スポットとしては、立神峡公園、里地公園の役割が大きい。
- 主な観光消費は、日帰り客による商品購入と飲食費であり、農産物もそのひとつ。
- JR有佐駅から立神峡にかけては、九州のウォーキングコースのひとつとして選定されており、秋の里山フェスタ・JRウォークには多くの参加者がみられる。



観光客総入込数の推移

	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年
八代地域	1,096,200	1,110,200	1,300,600	1,218,600	1,359,900	1,426,800	1,270,100	1,448,100	1,530,500	2,107,800
五木・五家荘地域	300,800	326,300	309,200	330,300	338,800	295,500	316,200	342,300	378,300	349,600
県全体	39,923,700	42,192,300	43,453,300	45,890,200	49,198,500	53,629,400	54,553,300	56,689,500	58,859,800	62,093,300

(単位:人) 県観光物産総室

旧宮原町平成15年観光入り込み数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年実績	
総入込客	県内	688	645	13,317	5,510	7,079	6,106	17,867	27,849	12,604	10,518	6,770	1,476	110,429	125,335
	県外	100	91	191	218	384	160	308	675	101	241	375	60	2,904	2,835
	合計	788	736	13,508	5,728	7,463	6,266	18,175	28,524	12,705	10,759	7,145	1,536	113,333	128,170
宿泊客	県内	68	35	267	160	189	206	857	1,589	324	1,028	220	226	5,169	4,535
	県外	0	31	1	8	64	0	8	135	21	31	15	0	314	295
	小計	68	66	268	168	253	206	865	1,724	345	1,059	235	226	5,483	4,830
日帰客	県内	620	610	13,050	5,350	6,890	5,900	17,010	26,260	12,280	9,490	6,550	1,250	105,260	120,800
	県外	100	60	190	210	320	160	300	540	80	210	360	60	2,590	2,540
	小計	720	670	13,240	5,560	7,210	6,060	17,310	26,800	12,360	9,700	6,910	1,310	107,850	123,340

(単位:人)

立神峡公園平成15年利用状況

施設名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	前年実績
立神峡公園	県内	620	610	4,210	5,350	6,890	5,890	17,010	24,450	12,280	8,490	6,050	950	92,800	106,340
	県外	70	50	100	140	250	160	290	470	70	120	300	30	2,050	2,340
	合計	690	660	4,310	5,490	7,140	6,050	17,300	24,920	12,350	8,610	6,350	980	94,850	108,680



JRウォークチラシより



立神峡とJRウォークの案内

平成15年旧宮原町における観光消費額

区分	総計額(千円)		1人1日当たりの平均消費額(円)	
	宿泊客	日帰客	宿泊客	日帰客
宿泊費				
飲食費	5,483	45,334	1,000	400
域内交通費				
商品購入費	2,742	34,000	500	300
その他	6,909		1,260	
計	15,134	79,334	2,760	700

平成15年宮原地区の祭り等観光客入り込み数

名称	開催期日	観光客数			会場	主催	前年実績
		県内		計			
		域内	域外				
初市・ふれあいまつり	3月3日・4日	3,000	3,000	6,000	宮原町役場周辺	宮原町商工会	8,000
火の国みやばら桜まつり	3月29日・30日	7,860	5,900	13,830	桜ヶ丘町民グラウンド	桜まつり実行委員会	8,800
納涼祭・三神宮夏越祭	7月29日	200	100	300	宮原三神宮	宮原三神宮	5,000
地蔵祭・花火大会	8月23日・24日	4,200	1,800	6,000	中心商店街・役場周辺	地蔵祭実行委員会	6,000
三神宮秋季大祭	10月13日	3,500	1,000	4,500	三神宮・中心商店街・川原神社	宮原三神宮・観光物産協会	4,500
生涯学習文化祭	11月1日～3日	1,000	500	1,500	町民体育館・中央公民館	宮原町中央公民館	1,500
里山フェスタ・JRウォーク	11月23日・24日	620	480	1,100	立神峡公園・町内	立神峡公園管理組合・JR九州	1,010
計		20,380	12,780	33,230			34,810

里地里山保全の背景 6 自然と環境の特性

1 自然環境状況

- 立神峡公園を中心とした氷川周辺にシイ・カシ萌芽林がみられる。
- 平野部は、田畑、市街地となっているが、傾斜地は、人工林、二次林、果樹園、畑が混在しており、現在は、竹林が畑および管理されている果樹園以外に侵入している。
- 立神峡公園を中心とした地区が、二次林を含む里地として生物多様性の重要性を持つ。

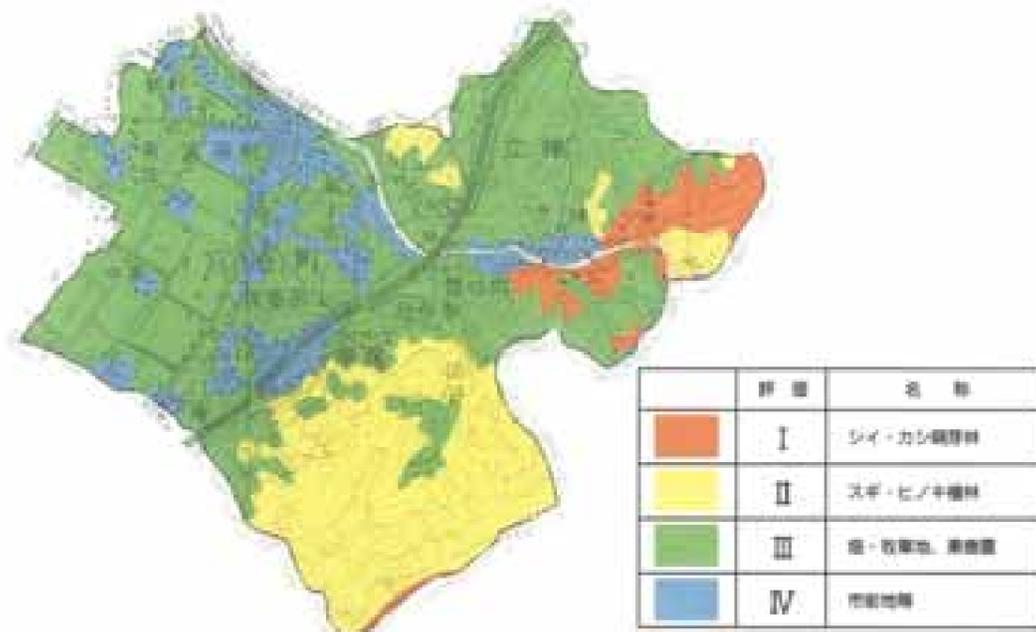
2 生物環境状況

- 立神峡公園では、森林植生調査（2001年6月）が行われており、シダ植物14科30種、裸子植物4科4種、単子葉植物10科36種、双子葉植物72科188種、計100科258種（うち12種類は再調査要）が確認されている。
- 鳥類についても、2000年11月～2001年7月にかけて、立神峡公園で調査が行われ、カワセミ、ヤマセミをはじめ57種類が確認されている。
- ほ乳類は、ニホンジカ、ニホンイノシシなどの大型獣もあり、イノシシによる農業被害が発生している。

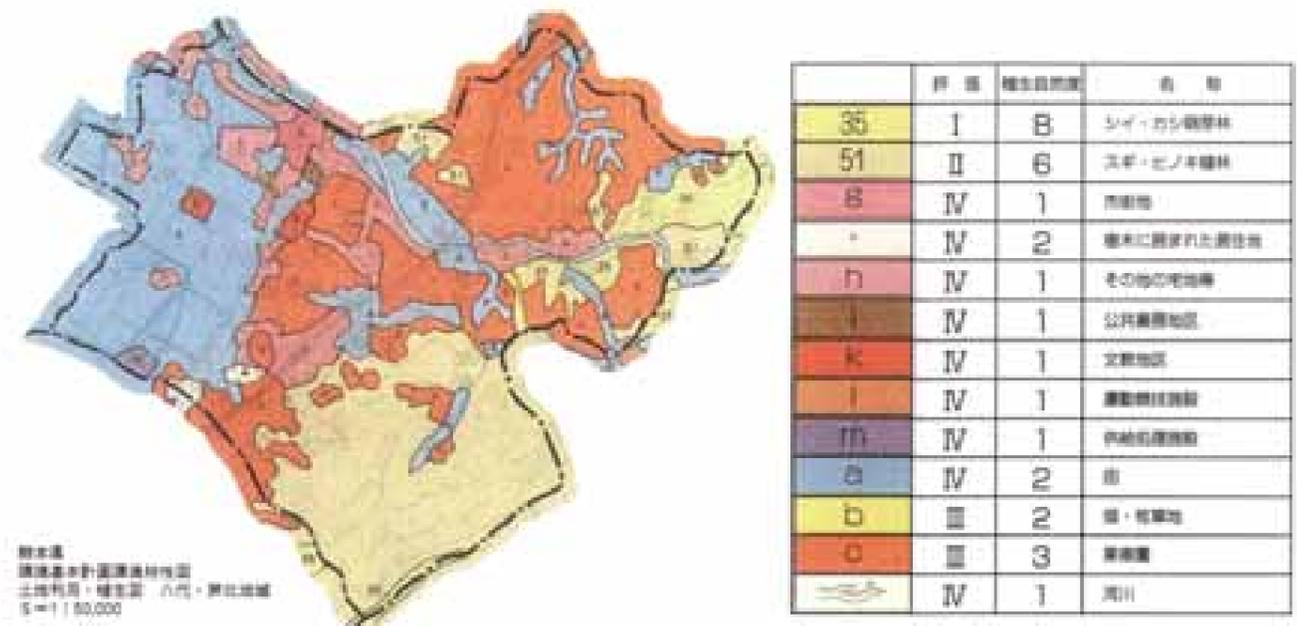


立神峡公園・里地公園の自然参考資料より（1980年宮河宏之氏）

植生自然度による評価図



植生図



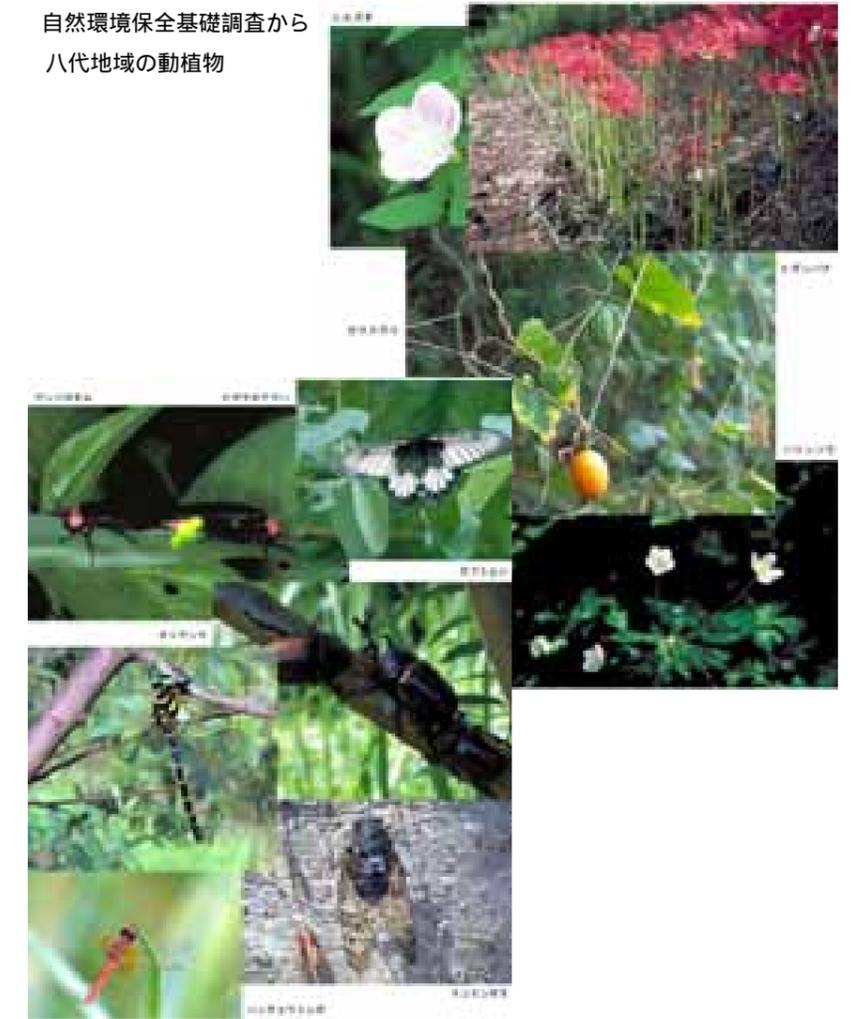
旧宮原町土地利用調整基本計画より



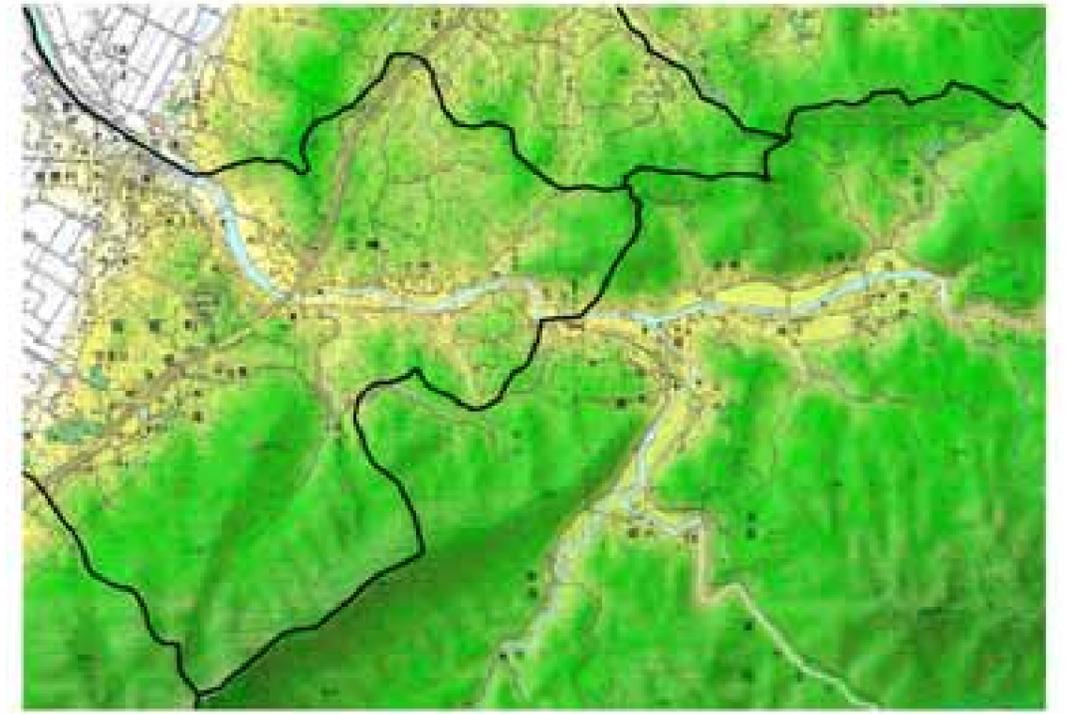
- 第2, 3回調査区
(昭和54年度)
- 常緑葉樹林
 - スギ・ヒノキ植林
 - シイ・カシ植林
 - 水田雑草群落
 - 市街地
 - 竹林
 - 雑草群落
- 第5回調査区改定地
(平成10年度)
- 雑草群落
 - ゴルフ場
 - 造成地
 - 伐跡群落

環境省 自然環境保全基礎調査

自然環境保全基礎調査から
八代地域の動植物



植生図に対応する旧町村区分図



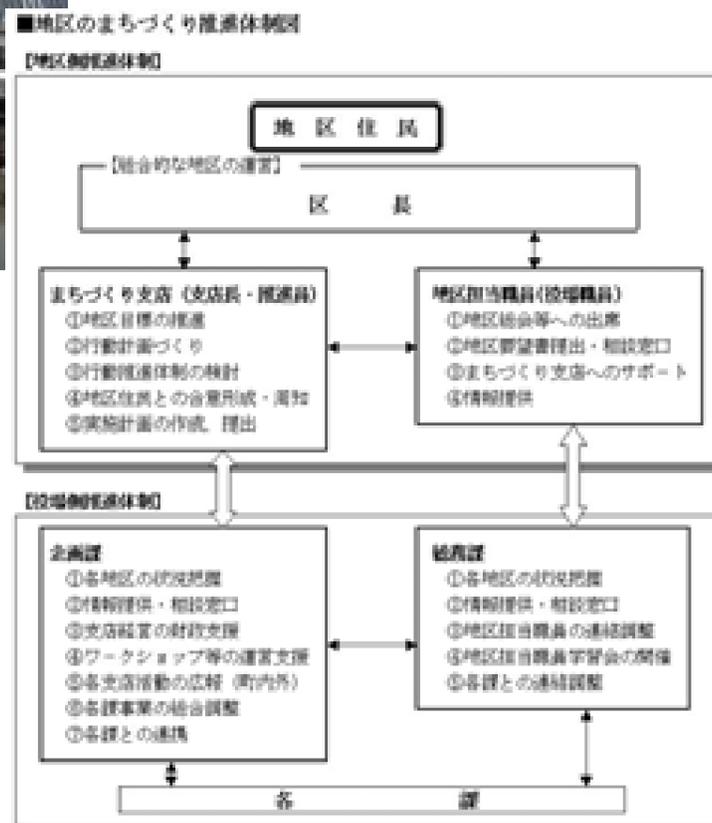
里地里山保全の背景 7 まちづくり情報銀行

- ・まちづくり情報銀行は、旧宮原町(現氷川町)の将来像を描く総合振興計画の策定にあたって、住民と行政が協働で取り組むための「まちづくり拠点」として設置。現在、氷川町宮原振興局の正面にある大正14年に当時銀行として建てられた建築物が拠点となっている。
- ・宮原地域の14の地区をそれぞれ「まちづくり支店」として位置づけ、町が担当職員を設置。地区には、まちづくり推進員、支店長などの制度がある。
- ・地区活動費が補助金として整備され、用途は、支店からの提案を支店長会議(年6回程度)によって相互に審査し決定。支店長会議の決定した事業を町長が交付決定する、住民主導の決定方式をとっている。
- ・旧宮原町の総合振興計画では、7つの地区で里地保全についても計画に盛り込んでいる。

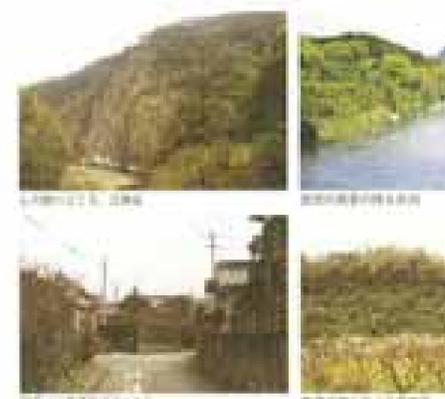


左:まちづくり情報銀行(大正14年建設)

右:まちづくり酒屋(旧造り酒屋をまちづくりの拠点として整備。宮原まちづくり株式会社が運営している)



地区目標例(立神地区 平成10年総合計画より)



里地里山保全の背景 8 立神峡公園・里地公園

立神峡公園・里地公園

- 立神峡公園は、五木・五家荘県立自然公園内に位置している。
- 溪谷の景観と、氷川にかかる吊り橋等で、夏期の避暑、観光地として位置付く。
- ログハウス、キャンプ等の施設も充実。
- 管理は、地区の立神峡公園管理組合が行っており、環境学習指導者でもある。
- 平成 10 年度、環境省事業(里地等環境基本計画総合推進モデル事業)として、一部を里地公園整備。日本では初めての「里地」をテーマにした環境学習施設として注目される。
- 夏期を中心に、地域、学校、活動団体、大学等が研修、環境教育、体験学習等として地域と連携しながら活用している。



立神峡 里地公園の主な環境教育ジャンル(平成17年度)

里山管理

竹林伐採、落ち葉かき、下草刈り、添え木の手入れ、薪拾い、炭焼き



生活文化

かまどや五右衛門風呂など火づかい、火打ち石体験、地場産品や野草料理、竹食器、竹細工、七夕飾り



自然観察

田んぼや里山の自然観察、生き物調べ



農業体験

米作り...田おこし、代かき、もみまき、田植え、草取り、かかしづくり、稲刈り、脱穀



その他

竹ドームづくり、野いちごジャムづくり、ソーメン流し、泥遊び、ネイチャーゲーム、宿泊合宿生活体験

